

一般質問通告書 6月議会

平成30年6月19日

番号	件名	氏名
1	祝島小学校の再開校を強く望む	清水 敏保
2	空き家対策の現状と移住希望者の対応について 取り下げ	山根 善夫
3	ふるさと納税制度を「てこ」に、産業振興と子育て世代支援、若い世代の定住対策を	山戸 孝
4	上盛山展望台およびその周辺環境整備について	右田 千賀子
5	新庁舎に伴い行政と関係団体との連携について	岩木 和美

4件 4人

定例会一般質問通告書

平成30年第2回上関町議会定例会（6月）

◆質問者1 清水敏保	
質問事項	質問要旨
祝島小学校の再開校を強く望む	<p>①児童1名が定期船で通学している。夏場は明るく海も比較的穏やかだが、冬場の朝の通学はまだ暗く、海も荒れてくるが、体制に問題はないか。</p> <p>②祝島小学校の再開校を実現するには、何が支障となるのか。具体的に示していただきたい。</p> <p>③「祝島地区の皆様、また保護者の方たちの意見を伺いたい」と話し合いを要望していたが、どのように考えているのか。</p> <p>④現在ある校舎や体育館では対応できないものか。また、文部科学省の設置基準をクリアできない点を具体的に示していただきたい。</p>
◆質問者2 山根善夫	
質問事項	質問要旨
空き家対策の現状と移住希望者の対応について	取り下げ
◆質問者3 山戸孝	
質問事項	質問要旨
ふるさと納税制度を「てこ」に、産業振興と子育て世代支援、若い世代の定住対策を	<p>ふるさと納税は魅力的な特産品を返礼とする自治体に寄付が集まる傾向にあり、上関町でも、「祝島特選びわ」「天然とらふくセット」「活き車エビ」など「上関ブランド」として定着している品物が上位に上がっている。今後寄付額を増やすためには、PRに力を入れたり新たな特産品開発も必要と思うが、魅力的な農産物を生産していくために、一次産業やそれに関連する産業振興が欠かせないと考え、町長の考えをお伺いしたい。</p> <p>さらに一歩進み、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して事業に取り組もうとする試みが多くの自治体でなされている。総務省は、クラウドファンディング型ふるさと納税による起業家支援や移住交流促進の取組に対し、特別交付税措置を実施している。若い世代に定住してもらうには、仕事を起業する</p>

	<p>という形を自ら生み出していくという方法もあっていいのではないだろうか。</p> <p>町の将来を考え新しい取組をしていく、あるいはソフト事業を展開していく、それらに対応する財源になり得るのが「ふるさと納税制度」であるので、今後もより一層力を入れていくべきだと考えるが、町長の考えをお伺いしたい。</p> <p>また、子育て世代への支援や若者定住対策を主眼としたクラウドファンディング型ふるさと納税に積極的に取組んでいく必要があると考えるが、町長の考えをお伺いしたい。</p>
◆質問者4 右田千賀子	
質問事項	質問要旨
上盛山展望台およびその周辺の環境整備について	<p>現在、展望台が鳥の糞害にあっていたり、展望台周辺の遊歩道に雑草が茂っていて、景色を楽しむどころではない。風力発電建設の工事が完成すれば、上盛山展望台を訪れる観光客が増えると思うが、これからどのように環境整備をしていくのか、町長の考えをお伺いしたい。</p>
◆質問者5 岩木和美	
質問事項	質問要旨
新庁舎に伴い、行政と関係団体との連携について	<p>新庁舎が完成すると、分散している各課の集約により行政機能の効率向上が期待される。場所の移動に伴い、連携が必要な法人、または各種団体との関係に影響を及ぼすと推測される。関係団体と行政との連携が必要であるが、移動配置先の計画はどのように検討されているのかお伺いしたい。</p> <p>また、各課が移動することで空き庁舎ができるが、その再利用についてどのように考えているのか町長の考えをお伺いしたい。</p>